

回答書

令和 8 年度精華町女性活躍推進型事業

No	質問事項	回答
1	対象者①（町内在住・在勤女性）と対象者②（近隣大学生等の女性）について、町として想定している参加割合や、特に重点的に参加を促したい層はありますか。	あらかじめの参加割合は設けていません。対象者①②に優先順位はつけませんが、主要なターゲットである若年層女性を学生とその他の対象者「大学生向け講座」「一般向け講座」の様に講座を分けて実施いただくことも可能です。対象を絞ることでより効果的なアプローチができる様であれば、どちらかの対象者に絞った講座を複数回実施する等の提案をしていただくことも可能です。
2	企業見学先企業および女性ロールモデルの候補について、とくに優先したい業種などはありますか？	幅広い業種からロールモデルを選出したいと考えています。選出にあたっては町があらかじめ行う企業への意向確認状況の結果を参考にさせていただくことも可能です。
3	本事業において町が特に重視する成果指標は何でしょうか。たとえば、参加者数、満足度、町内企業への関心向上、就業意欲の変化、その後の就業状況などのうち、優先順位があればご教示ください。	参加後の就労割合を本事業の評価指標としています。 その他、地域で働きたい女性と町内企業との出会いの場の提供による就職意欲の促進です。 また、今後の就労先として、町内企業の魅力を感じることができる提案を求めています。
4	(1)キャリアデザイン講座、(2)企業見学会、(3)意見交換会の開催について「最低 2 回実施」とありますが、(1)～(3)それぞれ各 2 回実施する必要があるのではなく、(1)～(3)の内容を網羅した講座を最低 2 回実施していればよいという認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。 詳しくは提案仕様書 1 頁の 6. 事業内容の例を参考にしてください。